

令和元年度 全国高等学校総合体育大会  
第69回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会  
実 施 要 項

主 催	公益財団法人全国高等学校体育連盟 公益財団法人日本スケート連盟 公益財団法人日本アイスホッケー連盟 北海道 北海道教育委員会 帯広市 帯広市教育委員会 清水町 清水町教育委員会
共 催	読売新聞社
後 援	スポーツ庁 公益財団法人日本スポーツ協会 日本放送協会 公益財団法人北海道スポーツ協会 帯広市体育連盟 清水町体育協会
主 管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 北海道高等学校体育連盟 一般財団法人北海道スケート連盟 一般財団法人北海道アイスホッケー連盟

1 会期

区 分	競 技 名	期 日
開 会 式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	令和2年1月22日(水)
競 技	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	令和2年1月23日(木)～1月26日(日)

2 会場

区 分	競 技 名	会 場
開 会 式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	帯広市民文化ホール（大ホール）
競 技	スピード競技	明治北海道十勝オーバル
	フィギュア競技	帯広の森スポーツセンター
	アイスホッケー競技	帯広の森アイスアリーナ 帯広の森第2アリーナ 清水町アイスアリーナ

3 競技種別

(1)スピード競技

	距 離					団体種目
	500m	1000m	1500m	5000m	10000m	
男 子	500m	1000m	1500m	5000m	10000m	2000mリレー・チームパシュート
女 子	500m	1000m	1500m	3000m		2000mリレー・チームパシュート

(2)フィギュア競技

男 子	シングルスケーティング
女 子	シングルスケーティング

(3)アイスホッケー競技(男子)

#### 4 競技日程（予定）

	スピード競技		フィギュア競技		アイスホッケー競技
23 (木)	①女子500m ②男子500m ③男子5000m	23 (木)	女子予選 Aグループ ショートプログラム	23 (木)	第1回戦
24 (金)	①女子1000m ②男子1000m ③女子3000m	24 (金)	女子予選 Bグループ ショートプログラム 男子予選 ショートプログラム	24 (金)	第2回戦
25 (土)	①男子10000m ②女子1500m ③男子1500m	25 (土)	女子予選 Cグループ ショートプログラム 男子決勝 フリースケーティング	25 (土)	準々決勝 準決勝
26 (日)	①女子2000mリレー ②男子2000mリレー ③女子チームパシュート ④男子チームパシュート	26 (日)	女子決勝 フリースケーティング	26 (日)	決 勝

#### 5 競技規程

2019年度公益財団法人日本スケート連盟(以下「日本スケート連盟」という)、公益財団法人日本アイスホッケー連盟(以下「日本アイスホッケー連盟」という)競技規則・規程並びに本大会要項によるほか、公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部(以下「スケート専門部」という)規程による。

#### 6 競技方法

##### (1)スピード競技

ア 男子、女子ともに各距離ダブルトラック(チームパシュートレースを除く)で競技を行う。その競技場は1周400mの標準トラック(Cタイプ)とする。

イ 男子、女子ともに1000m以上の距離は、カルテットスタートの競技方法を採用する。

ウ グループ分けと組み合わせ

※文中の「タイムランキング」とは前年度及び当年度に開催された、国際競技会を含む日本スケート連盟公式競技会における当該距離の自己最高タイムランキング(2019年12月30日付日本スケート連盟発表のもの)を指す。

①第1グループは、タイムランキング上位選手8名とし、それ以外の選手を第2グループとする。

②第1グループの組み合わせは抽選による。第2グループの選手はタイムランキングによって構成(組み合わせ)される。この時、同タイムの選手及びタイムのない選手は抽選により組み合わせられる。また、同じ組に同一校の選手が入らないように調整する。但し、同カルテット内では調整しない。これらは、スケート専門部及び実行委員会事務局により事前に抽選される。

③スタート順は、タイムのない選手、次にタイムランキング下位の組から滑走し、最後に第1グループが滑走する。但し、スケート専門部及び実行委員会事務局が気象条件を勘案し、暖気等で中断等が予想される場合や、明らかに公式記録上位の選手が不利な条件になると判断した場合は、第1グループから滑走させることができる。

- ④組み合わせ後に棄権者が出た場合には、競技開始1時間前までに棄権が出た場合は組み合わせを再編成する。
- ⑤選手変更は、その種目開始1時間前までに行うことができる。補欠選手は当該校の選手の位置と入れ替わり、補欠選手の自己最高タイムに基づく再編成はしない。
- ⑥チームパシュートレースの組合せ方法は、男子・女子ともに学校毎1500mにエントリーした選手数とそのタイムを参考にグループ分けをして組み合わせられる。グループ分け及びグループ内での組合せは以下のとおりとする。

- Aグループ：1500mに2名エントリーの学校。組み合わせは、1500mにエントリーした下位者のタイムで行う。
- Bグループ：1500mに1名エントリーの学校。組み合わせは、1500mにエントリーされた選手のタイムで行う。
- Cグループ：1500mにエントリーのない学校。組み合わせはフリー抽選とする。
- スタート順：Cグループから滑走し、次にBグループの下位の組からAグループ下位の組へと順次続く。

なお、チームパシュートレースのエントリーは、一校男子女子それぞれ4名までとし、タイムレースで順位付を行う。

- ⑦2000mリレーの組み合わせは、リレーにエントリーした選手の、500m申告タイム上位4選手を平均したランキングによって組み合わせられる。スタート順は、その平均タイム下位の組から滑走する。
- ⑧チームパシュートレース及びリレーに出場する場合は、安全対策として、ヘルメット（ショートトラック競技の基準に適合するもの）・ネックプロテクション・シンガード・アングルプロテクション・手袋の着用を義務付ける。なお、レーシングスーツは、カットレジスタンスであること、ブレードは両端を丸くカットしてあることが望ましい。

エ 各距離24位までと、リレー、チームパシュートの12位までに各1点を与える。

オ 入賞はリレー、チームパシュートを含む各距離8位までとし、得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点を与える。

カ 男女各総合(学校対抗)順位は、リレー、チームパシュートを含む各距離の得点を学校別に合計し、その合計点により順位を決定する。但し、同点の場合は、総合6位以内に限り上位入賞の多い学校を上位とする。その決定は、より上位を有する数による。

キ 参加資格確認のため、当該校の申込記載責任者は様式6Sにバッジ認定証の写しを貼付しなければならない。

## (2)フィギュア競技

ア 競技は予選、決勝方式により行う。

【予選】：男子クラス・女子クラスともにショートプログラムにより行う。

I S Uジュニアの課題を適用する。

【決勝】：男子クラス・女子クラスともにフリースケーティングにより行う。

I S Uジュニアの男子及び女子のバランスのとれたフリースケーティングを適用する。

イ 選抜方法

- ①男子クラス・女子クラス予選の得点のそれぞれ上位24位までの選手が決勝に進出する。
- ②参加人数が、男子クラス・女子クラスそれぞれにおいて参加人数が多い場合は、2つ以上の組に分けて予選を行う。
- ③予選の組分け方法  
当該年度の全日本フィギュアスケート選手権大会出場の選手、当該年度の全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会上位12位までの選手、前年度の本大会上位12位までの選手を、前記大会順、入賞順に2つ以上の組に振り分け、それ以外の選手は、バッジテスト級ごとにそれぞれ抽選で2つ以上の組に分ける。組分けの抽選は、技術代表、スケート専門部及び実行委員会事務局の責任において事前に行う。組分け後に棄権者が出た場合でも、組の再編成は行わない。

ウ 採点方法

I S Uジャッジングシステムで行う。

エ 滑走時間

- |        |    |            |             |
|--------|----|------------|-------------|
| ①男子クラス | 予選 | ショートプログラム  | (2分40秒±10秒) |
|        | 決勝 | フリースケーティング | (3分30秒±10秒) |
| ②女子クラス | 予選 | ショートプログラム  | (2分40秒±10秒) |
|        | 決勝 | フリースケーティング | (3分30秒±10秒) |

## オ 成績

### ①個人成績

決勝進出者については、予選の得点と決勝の得点の合計点により個人順位を決定する。同点の場合はフリースケーティングの得点が高い選手を上位とする。決勝へ進出できなかった者については、決勝進出者の最後の順位に続けて、予選の得点により個人順位を決定する。同点の場合は、技術点の高い者を上位とする。

### ②総合成績

個人順位の逆転法(最下位の順位点を1点とし順位が一つ上がるごとに1点ずつ加点していく)により個人に順位点を与え、順位点を学校別に集計し、総合順位を決定する。但し、同点の場合は上位者のいる学校を上位とする。

### (3)アイスホッケー競技

ア トーナメント競技方法により、1位、2位、3位(2校)までを決定する。

イ 組み合わせ抽選は、スケート専門部、北海道アイスホッケー連盟、実行委員会事務局合同での事前抽選とする。

ウ 組み合わせ抽選の際、前回大会1位、2位、3位(2校)の学校をシードし、地区は考慮しない。

## 7 引率・監督

(1)引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活道指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。

(2)監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

### 【補足事項】

#### ・スピード競技

①やむを得ない事情により当該校の職員または部活動指導員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の職員または「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)が引率することができる。但し、その際には参加申込書に委嘱状の写しを添付すること。また、監督と引率責任者が異なる場合は、十分な打ち合わせをすること。

②引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

#### ・フィギュア競技

①引率責任者は監督を兼任し、当該校の職員とする。但し、やむを得ない事情により当該校の職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の職員が引率することができる。その際は申込時に委嘱状の写しを添付すること。

②コーチ(インストラクター)は、当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。

③引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

#### ・アイスホッケー競技

①監督と引率責任者は兼務するものとする。

②引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

## 8 参加資格

(1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。

(2)選手は各都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、各都道府県スケート連盟、アイスホッケー連盟を通じてそれぞれ日本スケート連盟または日本アイスホッケー連盟に登録された者であること。

(3)年齢は平成12(2000)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。)

大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。

(4)チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5)複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。

- (6)転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。  
大会開始前のエントリー変更期限前に6か月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7)出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8)参加資格の特例  
ア上記の(1)(2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たすと判断され、かつ都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程にしたがい大会参加を認める。  
イ上記の(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1)大会参加を認める条件
    - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
    - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
  - (2)大会参加に際し守るべき条件
    - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合せ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある学校の職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9 参加制限

(1)スピード競技

- ア 出場は1校1距離2名以内とし、補欠は1名とする。また個人の出場制限は2距離以内(リレー・チームパシュートを除く)とし、補欠も1距離と見なす。  
※1選手の最大エントリー数は個人種目(2距離以内)の他リレーとチームパシュートの4種目とする。
- イ リレーは登録6名以内とし、出場者はそのうち4名とする。
- ウ チームパシュートは登録4名以内とし、出場者はそのうち3名とする。
- エ 申し込み選手のほか、男女別に監督1名とする。コーチは1名以内とする。
- オ 各都道府県スケート連盟を通じて日本スケート連盟に登録された者であり、スピードスケートバッジテスト又はショートトラックバッジテストC級以上の資格取得者であること。

(2)フィギュア競技

- ア 共通の参加制限
- ①2019年9月1日現在、日本スケート連盟フィギュアスケーティングバッジテスト男子6級以上、女子6級以上の資格取得選手であること。但し、女子6級取得選手については、下記「イ」の参加制限を課す。
  - ②出場は、1校男女それぞれ、選手3名、補欠1名以内とする。補欠との選手変更は、予選滑走順抽選までに文書で届け出た場合のみ認める。
  - ③申し込み選手のほか、監督(引率者が兼任)は、1校男子クラス、女子クラスについて、それぞれ1名以内、インストラクターは参加選手1名に対し1名以内とする。

#### ④都道府県代表特別枠

男子6級以上、女子6級以上の資格による出場者がいない都道府県については、特別枠として都道府県代表、男女それぞれ1名の選手の出場を、男子5級、女子5級取得選手に限り認める。

#### イ 女子6級以上取得選手の参加制限

女子6級以上取得の選手で、最大126名以内となるよう、以下の条件によるものとする。

##### ① 参加人員

参加人員は(a)基本人数+ (b)日本スケート連盟推薦枠人数+ (c)選手数比例配分+ (d)開催都道府県枠人数とする。

##### ② 参加制限

(a) 基本人数は各都道府県とも6級以上取得者1名とする。該当者の無い都道府県の人数は比例配分に組み入れる。

(b) 日本スケート連盟枠は前年度の下記大会で条件を満たす成績を収めた者とし、該当の都道府県に人数枠を与える。

- ・前年度全国高等学校スケート競技選手権大会 12位以内
- ・前年度全日本フィギュア競技選手権大会 12位以内
- ・前年度全日本フィギュアジュニア競技選手権大会 12位以内
- ・前年度全国中学校スケート大会 上位入賞者
- ・その他に、その年に際立った成績を残した者

(c) 選手数比例配分については、6級以上登録選手数を基に、全国高体連スケート専門部フィギュア委員会が各都道府県に比例配分し、各都道府県の6級以上取得選手出場枠を決定する。

(d) 開催都道府県枠の最大人数は、6級以上取得選手登録数の4分の1の人数とする。

#### (3)アイスホッケー競技

ア 申し込み選手のほか、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名以内とする。但し、チーム事情によりトレーナー1名をコーチとしてもよい。

イ 各ブロックで予選を行い、代表校を決定する。出場校は各ブロックからの代表26校と開催地推薦校を加えたチームとする(北海道ブロック8校、東北ブロック5校、関東ブロック8校、北信越・東海・近畿ブロック4校、中国・四国・九州ブロック1校)。

ウ 1学校1チームとし、1チーム競技出場者はゴールキーパー1名以上2名以内を含めて22名以内とする。(但し、試合開始時に最低でも5名スケーターと1名のゴールキーパーを氷上に送り出すことができなければならない。)

エ 選手はフェイスマスク(全面を覆うもの)、ネックガード、マウスピースを着用すること。

(4)外国人留学生については、スピード競技・フィギュア競技は1校男女各1名、アイスホッケー競技は競技出場2名以内とする。

#### 10 参加申込

##### ※個人情報の取扱について

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用されることはない。(詳しくは大会ホームページの「個人情報取扱」を参照のこと)

##### (1)申込期限

ア 原本の送付については、令和元年12月26日(木) 消印有効

イ 但し、データ送信については、次の通りとする。

##### ① 都道府県別申込、学校別申込、スピード競技申込

令和元年12月25日(水) 正午必着

##### ② 都道府県別申込、学校別申込、フィギュア競技申込

令和元年12月13日(金) 正午必着

※演技予定要素リストは、日本スケート連盟web申込を必ず行うこと

##### ③ 都道府県別申込、学校別申込、アイスホッケー競技申込

令和元年12月25日(水) 正午必着

(2)申込先

〒080-2473

北海道帯広市西23条南2丁目12番地 北海道帯広三条高等学校内

令和元年度 全国高等学校総合体育大会

第69回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

事務局宛

TEL 0155-37-5501

FAX 0155-37-5503

e-mail : obihiro@69in-high.com

(3)申込方法

ア 各都道府県申込責任者は、参加校の関係書類(様式4~12Hの必要な書類)を確認の上、大会ホームページ(<https://69in-high.com/>)より書類(様式1~3・選手団連絡票)をダウンロードして下記の書類を作成し、所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。同時に入力済み書類(様式1~3・選手団連絡票)のエクセルファイルを電子メールにて添付送信すること。

- ① 様式1 申込送付書及び送金確認書 【郵送】及び【データ送信】
- ② 様式2 都道府県選手団申込一覧表 【郵送】及び【データ送信】
- ③ 様式3 役員・視察員宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】
- ④ 選手団連絡票 【郵送】及び【データ送信】

イ 各参加校は大会ホームページ(<https://69in-high.com/>)より申込用ファイル(様式4~12H)をダウンロードして、必要な書類を作成し各都道府県申込責任者に提出すること。同時に各参加校は、入力済みの申込用ファイル(様式4~12H)およびプログラム掲載用写真を電子メールにて添付送信すること。

- ① 学校別申込用シート(様式4)  
様式4 学校別参加申込書 【郵送】及び【データ送信】

- ② スピード競技申込用シート(様式5S~8S)

他に各参加校は、日本スケート連盟ホームページ(<http://skatingjapan.or.jp>)国内競技会オンライン大会申込から参加選手の登録番号・パスワード(日本スケート連盟登録者へは葉書で通知済み)を入力し大会名(令和元年度全国高等学校総合体育大会第69回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会)を選択。出場種目等を入力する。オンラインシステムへの入力については、12月25日正午で終了しその後の入力はできない。なお、このシステムを利用し、組合せの基準となるタイムランキングのリストを作成するため、「各種目の補欠」「リレー」「パシュート」の入力の必要はない。(補欠、リレー、パシュート参加者は様式5Sから事務局で確認する)

オンラインシステムの入力開始日は11月25日(月)とする

「タイムランキング」について

データの締め切り後各距離のタイムランキングを実行委員会のホームページに掲載する。各校記載責任者は、期間中(12月30日~1月3日)に最高タイムを確認し、ランキングのタイムに訂正がある場合は、様式7Sを組合せ抽選会議前日(1月3日)までに電子メールまたはFAXで送信すること。なお、期限までに訂正申込がされない場合その後の変更は認めない。また、電子メールで送信する場合は、表題に「【最高記録変更】〇〇〇〇高等学校」と明記すること。

様式5S スピード競技出場申込書(男・女) 【郵送】及び【データ送信】

様式6S スピード競技バッジテスト取得級貼付用紙 【郵送】

様式7S スピード競技最高記録確認依頼届 【FAX】及び【データ送信】

様式8S スピード競技宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】、  
配宿センターへ【データ送信】

※プログラム掲載用写真(チーム写真) 【データ送信】

写真は横型で撮影して下さい。

- ③ フィギュア競技申込用シート(様式9F~10F)

様式9F フィギュア競技出場申込書(男・女) 【郵送】及び【データ送信】

様式10F フィギュア競技宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】  
配宿センターへ【データ送信】

※プログラム掲載用写真(個人写真) 【データ送信】

写真は縦型で撮影して下さい

### 【演技予定要素リストについて】

参加選手個人に於いて令和2年1月8日(水)までに日本スケート連盟HP「競技会オンライン申込サイト」より登録すること。

#### ④アイスホッケー競技申込用シート(様式11H~12H)

様式11H アイスホッケー競技出場申込書

【郵送】及び【データ送信】

様式12H アイスホッケー競技宿泊申込書

【郵送】及び【データ送信】

配宿センターへ【データ送信】

※プログラム掲載用写真(チーム写真)

【データ送信】

#### ウ スピード競技「最高記録確認依頼届」について

データ送信及びオンライン申込み締め切り日(12月25日)以降に開催された公式競技会で、出場予定の種目の最高記録が更新された場合でも、タイムランキングには反映されない。申込み期日以前に開催された大会の記録がタイムランキングに反映されていない場合は「様式7S」に必要事項を記入し、令和2年1月3日(金)正午までに大会実行委員会事務局宛に必ずFAXまたはメールで提出すること。

#### エ 参加料、プログラム代金及び大会報告書代金の送金は銀行振込とし、銀行で発行された振込金受領書のコピーを必ず申込用紙の所定の欄に貼付すること。

#### オ 送金の際には、実行委員会が指定した銀行口座に電信扱いで振り込むこと(振込手数料は、申込者の負担とする)。

また、送金依頼人名は都道府県名と代表者名がわかるように(個人名にしない)すること。なお、実行委員会事務局からは、各参加校に参加料・プログラム代金等の領収書は発行しない。

#### カ 申込書類の送付は、発送記録が残る方法(書留等)で行うこと。

#### キ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備のあるものは受け付けない。

## 11 参加料について

### ア スピード競技

1名1距離ごとに4,000円(リレー・パシュートは除く)。但し補欠選手の参加料は徴収しない。

### イ フィギュア競技

1名4,000円。但し、補欠選手の参加料は徴収しない。

### ウ アイスホッケー競技

1チーム40,000円

### エ 申込と同時に納入すること。申込締切後に、参加の取り消しがあっても返金はしない。

## (1)振込先

振込先	指定銀行	帯広信用金庫	つつじが丘支店
	預金口座	店番034	(普通) 口座番号 0207355
	名義人	第69回 帯広高校総体大会事務局	
		代表 野呂 俊夫	
		(ダイロクジュウキュウカイ オビヒロコウコウソウタイ タイカイジムキョク ダイヒョウ ノロ トシオ )	

## (2)プログラム

参加校競技別に1部を無償配布する。その他は1部1,500円で販売する。代金は参加申込と同時に納入すること。

## (3)大会報告書

競技成績が掲載されている大会報告書を購入希望する学校は、参加申込と同時に申し込むこと。

1部2,000円(送料含む)の代金は、申込と同時に納入すること。

## 12 表彰

### (1)スピード競技

ア 男女別に総合(学校対抗)6位までに賞状、優勝校には、(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本スケート連盟会長杯(以上持ち回り)、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に各距離の8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。



(2)フィギュア競技

ア 男女別に総合(学校対抗)6位までに賞状、優勝校には、(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本スケート連盟会長杯(以上持ち回り)、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に個人8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

(3)アイスホッケー競技

ア 3位(2校)までに賞状、優勝校には、(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本アイスホッケー連盟会長杯(以上持ち回り)、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 優勝校の各選手に賞状と優勝メダルを授与する。

ウ 準優勝校の各選手に賞状と準優勝メダルを授与する。

エ 3位(2校)の各選手に賞状と入賞メダルを授与する。

13 宿泊

(1)宿泊の申込については、必ず「配宿センター」を経由(データ送信)すること。

(2)宿泊申込書の原本を必ず北海道実行委員会宛にメール送信及び送付すること。

(3)詳細については、宿泊要項による。

14 輸送

輸送については、輸送要項による。

15 医療救護

医療救護については、医療救護要項による。

16 式典及び諸会議

名称	競技	日時	会場
抽選会議	スピード競技	1月4日(土) 10時00分	帯広三条高等学校
	アイスホッケー競技	1月6日(月) 13時00分	白樺学園高等学校
監督会議	スピード競技	1月22日(水) 10時00分	明治北海道十勝オーバル会議室
監督主将会議	アイスホッケー競技	1月22日(水) 10時00分	ホテル日航ノースランド帯広
引率責任者(監督)会議 滑走順抽選	フィギュア競技	1月22日(水) 11時00分	とちかちプラザ
開会式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	1月22日(水) 14時00分	帯広市民文化ホール
閉会式 (各競技別)	スピード競技	1月26日(日) 競技終了後	明治北海道十勝オーバル
	フィギュア競技	1月26日(日) 競技終了後	帯広の森スポーツセンター
	アイスホッケー競技	1月26日(日) 競技終了後	帯広の森アイスアリーナ

17 留意事項

(1)諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨をFAXまたは電子メールで実行委員会事務局に連絡すること。

(2)各競技の練習時間は、実行委員会事務局で割り当てる。

(3)スピード競技出場者は、必ずバッジテスト認定証を持参しなければならない。

- (4)フィギュア競技の引率責任者(監督)は、選手のショートプログラム競技で使用する音楽の録音媒体を引率責任者(監督)会議に持参すること。また、選手は、大会期間中バッジテスト受験者手帳を携帯していなければならない。
- (5)フィギュア競技で使用する音楽の録音媒体はMD・CDとする。録音媒体には、学校名・選手名を明記すること(シール等を媒体に貼付しないこと)。また、万が一に備えて、予備のMD・CD(提出したものと異なる録音媒体が望ましい)を必ず用意しておくこと。MDはノーマルモードで録音すること。
- (6)貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

## 18 実行委員会事務局

〒080-2473

北海道帯広市西23条南2丁目12番地 北海道帯広三条高等学校内

令和元年度 全国高等学校総合体育大会

第69回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

大会事務局

TEL 0155-37-5501

FAX 0155-37-5503

e-mail : obihiro@69in-high.com

(1)令和2年1月22日(水)～令和2年1月26日(日) 予定

〒080-0856 帯広市南町南7線56-7

令和元年度 全国高等学校総合体育大会

第69回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

大会事務局

TEL 090-8630-2900 (事務局長 後藤 陽)

e-mail : obihiro@69in-high.com

○アイスホッケー当番校

〒082-0082

北海道河西郡芽室町北伏古東7線10番1 白樺学園高等学校内

令和元年度 全国高等学校総合体育大会

第69回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

TEL 0155-62-7411

FAX 0155-62-8821

○アイスホッケー協力校(大会1日目のみ)

〒089-0123

北海道上川郡清水町北2条西2丁目2 北海道清水高等学校内

TEL 0156-62-2156

FAX 0156-62-2097

## 19 各会場の住所

区分	競技名会場	住所
開会式	帯広市民文化ホール	〒080-0015 帯広市西5条南11丁目48-2
スピード競技	明治北海道十勝オーバル	〒080-0856 帯広市南町南7線56-7
フィギュア競技	帯広の森スポーツセンター	〒080-0856 帯広市南町南7線56-7
アイスホッケー競技	帯広の森アイスアリーナ	〒080-0856 帯広市南町南7線56-7
	帯広の森第2アリーナ	〒080-0856 帯広市南町南7線56-7
	清水町アイスアリーナ	〒089-0357 上川郡清水町字御影南2線69-1